

観光による地域活性化と二次交通を考えるシンポジウム

- 国内外の旅行需要が回復する中、観光による地域活性化を目指すうえで、特に、地方部においては、「二次交通の確保・充実」に課題があると捉えられています。
- シンポジウムでは、地域の特性を活かした観光地域づくりに向けて、「観光の視点・交通の視点で考えることは何か」など、参加者の皆様とともに、これらのテーマについて考えます。

開催日 2024年6月7日(金) 13:00~16:00

会場

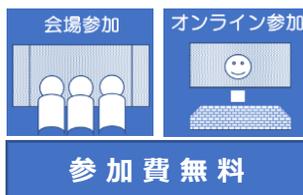
大阪国際交流センター 小ホール
(大阪市天王寺区上本町8丁目2-6)

対象・定員

地方公共団体・観光関係事業者・交通事業者 等
会場定員：120名・オンライン定員：300名(先着順)

申込方法

下記URLよりお申し込みください
<https://forms.office.com/r/88Aemfyxd2>



QRコードからのお申し込みも可能です



プログラム

個別相談会を実施いたします。ご希望の方は、お申し込みが可能です

1. 開催挨拶：近畿運輸局長 日笠 弥三郎
2. 基調講演：大分大学 経済学部門 教授 大井 尚司 氏
3. 講演：株式会社リクルート じゃらんリサーチセンターセンター長 沢登 次彦 氏
4. 事例紹介：① 京都府福知山市：交通空白地有償運送（鬼タク）
② 全但バス株式会社：豊岡市における観光周遊のデジタル化の取り組み
③ 西日本旅客鉄道株式会社：南紀白浜エアポートと連携したオンデマンドバス（チョイソコ白浜）
5. パネルディスカッション
(コーディネーター：大井 尚司氏、パネリスト：沢登 次彦氏、事例紹介3団体、近畿運輸局)
6. 近畿運輸局職員による個別相談会（会場のみ）

講演者の紹介



大分大学 経済学部門 教授 大井 尚司 氏

福岡県北九州市出身。1996年熊本大学法学部卒業後、旅行会社勤務を経て2007年神戸大学大学院経営学研究科博士後期課程修了、運輸政策研究機構（現・運輸総合研究所）研究員を経て現職。専門は地域交通計画、観光など。九州内で地域公共交通の確保維持に多数携わるほか、2010年から勉強会「地域と交通をサポートするネットワークin Kyushu (Qサポネット)」を主宰（代表）。2023年より国土交通省交通政策審議会委員に就任。



株式会社リクルート じゃらんリサーチセンターセンター長 沢登 次彦 氏

1993年4月株式会社リクルート入社。
教育機関広報事業部を経て、2003年4月に国内旅行事業部へ。
関東近郊観光地のエアプロデューサーとして地域活性に携わる。2007年4月より現職。
観光庁をはじめ中央省庁や地方自治体の各種審議会委員を務め、講演・研修などを行う。